

令和6年度(2024年度)芦北教育事務所取組の方向

「認め・つなぐ・明るい」教育の実現

～芦北だからできる教育の実践を通して、誰一人取り残さない学びの保障を～

「夢を実現し、未来を創る熊本の人づくり」の理念に基づき、校長のリーダーシップの下、学校の指導体制を確立するとともに、「熊本の学び推進プラン」の推進により、全ての教育活動の質を向上させ学習効果の最大化を目指すことで、教職員一人一人の基本的資質と専門性を高め、児童生徒の健全な心身の育成と学力の向上につなげ、県内に発信していく。

【重点努力事項】



豊かな心の育成	確かな学力の育成	健やかな体の育成
<input type="checkbox"/> ①社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための、キャリア教育の充実	<input type="checkbox"/> ①誰一人取り残さない学びの保障のための、学力向上検証改善サイクルに基づく組織的な取組の充実	<input type="checkbox"/> ①体力を向上させるための、体育・保健体育学習の充実と学校総体としての取組の推進
<input type="checkbox"/> ②豊かな道徳性を養うための、道徳科の授業の充実	<input type="checkbox"/> ②子供たちを「学びの主体」として育てるための、単元や内容のまとまりを意識した授業改善	<input type="checkbox"/> ②健康課題解決のための、保健教育の充実と保健管理の徹底
<input type="checkbox"/> ③いじめや不登校、問題行動の未然防止、早期発見・解消のための取組の充実	<input type="checkbox"/> ③グローバル社会を豊かにたくましく生きていくための、実践的な英語力の育成	<input type="checkbox"/> ③安全・安心な学校生活のための、安全教育・防災教育の充実と安全管理の徹底

特別支援教育の充実

- ①子供の可能性を最大限に伸ばすための、特別支援教育の視点に基づく、個に寄り添う指導の工夫
- ②保護者との連携の下、切れ目ない支援体制を構築するための、進級や進学に伴う各学年、校種間の情報連携による確実な移行支援の実施
- ③教職員の特別支援教育に係る資質と専門性の向上のための、計画的・組織的な研修の充実

人権教育の推進

- ①自校の人権課題を解決・改善するための、人権教育におけるPDCAサイクルの充実
- ②基本的認識の深化と実践的指導力を向上させるための、推進体制の機能強化及び研修の充実
- ③自他の人権を守る実践的な行動力を育むための、水俣病をめぐる人権問題と、部落差別(同和問題)をはじめとする様々な人権問題を重ね合わせる学習の充実

地域とともにある学校づくり

- ①社会に開かれた教育課程を実現させるための、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進
- ②家庭教育支援を充実させるための、「くまもと家庭教育支援条例」に基づく取組の推進
- ③15年間を見通した教育を充実させるための、幼・保等、小、中連携及び五者(学校、家庭、地域、子供、行政)による共通理解の推進

不祥事の根絶

- ①不祥事を根絶するための、「不祥事等の事件・事故に係るリスクマネジメント対応指針」を踏まえた研修の充実

※①、②、③の番号は、優先順位を示すものではありません。